

第9回における委員意見に対する対応

資料1

No.	分類	意見要旨	対応
1	自然環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・現地で樹木1本1本の確認をする際の基準は、出来る範囲で、現在公園で活動されている方の声も聞きながら作成していただくとよい。(高田部会長) ・既に公園で活動されている高校生や高校の先生など関係団体の情報を収集したうえで、現地を確認するのがよいと思う。(上町委員) 	<p>【意見を踏まえ対応】 (資料3)</p> <p>石垣周辺における樹木確認の基準については、事前に、公園で活動されている方との現地視察を実施し、意見を踏まえて案を作成しました。</p>
2	活性化の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化には大きく2つあり、今ある活動がより元気になるという意味での活性化と、これまでとは違う新しい公園の使い方という意味での活性化がある。活性化について、より広い概念で捉えるということがポイント。(高田部会長) 	<p>【意見を踏まえ対応】 (資料4/P1)</p> <p>明石公園における「活性化」の方向性として、資料に明記しました。</p>
3	明石公園市民談義所(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ・個別のイベントだけでなく、公園の長期的なビジョンについても議論するような場にもできればよい。(嶽山副部会長) ・将来的な公園のあり方ということも念頭に置きながら検討していきたい。(高田部会長) ・民間事業者を入れるにしても、長期的なビジョンを守ったうえで進めていくと議論が深まるのではないと思う。(辰巳委員) ・談義所では近視的な意見は多く集まると思うが、長期的な視点に基づいた意見も集約できるようにテーマを決めていくのがよいと思う。(河本委員) 	<p>【意見を踏まえ対応】 (資料4/P3)</p> <p>明石公園市民談義所(仮称)(以下「談義所」という)では、長期的な視点に基づいた内容についてもテーマに設定し、議論できるよう運営を工夫していきます。</p>
4		<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方の声が必要に反映されるような形で進めてもらえるようお願いしたい。(飯塚委員) ・どうすれば障害のある方の声を共有できるか、どのように対話すればよいかということは、皆で知恵を出し合って考えていきたい。(高田部会長) ・若い世代の意見を取り入れるような工夫も必要。(河本委員) 	<p>【部会、談義所において検討】</p> <p>談義所の運営方法については、部会のほか、談義所においても引き続き検討を行ってまいります。</p>
5	活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に新しい価値を入れる場合には、設計段階から基礎的なデータに基づく組み立てが重要と考える。(村上委員) 	<p>【意見を踏まえ対応】</p> <p>民間活力の導入にあたり、新たに情報収集が必要となる場合には、その内容に応じて調査の実施を検討していきます。</p>
6		<ul style="list-style-type: none"> ・明石公園の価値を考えると、歴史環境の分野については、法的な制限がかかる場所があるので、皆で条件を共有したうえで議論を行う必要がある。(村上委員) 	<p>【意見を踏まえ対応】</p> <p>談義所への参加者を含め、法的な制限等を丁寧に説明をしていきます。</p>
7	民間活力導入	<ul style="list-style-type: none"> ・明石公園の利用者は本当に様々な動機で来ているのであり、そういう多様性を大切に皆で共有したうえで、なお更に違った利用が追加できるかどうか、そういったことを押さえながら調査していく必要がある。(小林委員) ・公募する際に、大事な点をしっかり踏まえた条件付けができれば、すごくいいものができると思う。(飯塚委員) ・民間活力を導入しようとする場合には、公募段階での条件整理が必要である。(中務委員) ・民間活力を導入する際に、儲かる施設だけの切り売りになり、公園全体の一貫した管理が難しくならないか懸念している。明石球場が荒れた球場にならないようにしたい。(河本委員) 	<p>【意見を踏まえ対応】 (資料4/P4)</p> <p>民間活力の導入を検討する際には、部会で検討した合意形成ルールに則り、随時、公園利用者や協議会の意見を聴取する場を設けます。</p> <p>また、専門家による事業者選定委員会を設け、他府県での事例を踏まえた慎重な審議により、適切な条件設定を行ってまいります。</p>
8		<ul style="list-style-type: none"> ・今使っている人々にとっての公園の価値と、民間事業者が考える価値を事前にマッチングする仕組みがあれば理想的だと思う。明石公園の特徴や土地柄なども踏まえた提案ができるよう、民間活力を導入する際の考え方に組み込んでほしい。(高田部会長) 	<p>事業可能性調査の前段階における意見聴取等の実施については、今後検討を行ってまいります。</p>

No.	分類	意見要旨	対応
9	活性化 老朽施設の活用のあり方	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利活用に関する合意形成ルールについて、更新や廃止の場合であっても、管理運営協議会への「報告」だけでなく、「協議」をすべきではないか。また、施設更新の程度にあわせて公園利用者への意見聴取も必要かと考える。（丸谷委員） 	<p>【部会において検討】（資料4/P.5）</p> <p>「報告」という文言について、「説明・相談」に修正しました。</p> <p>また、関係者間で運用に関する事例がある程度蓄積されるまでの当面の間は、施設更新についても公園利用者等への意見聴取を実施することとします。</p>
10	情報共有マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 公園で活動している方々から情報収集する際の考え方や進め方について整理が必要。（嶽山副部長） 明石公園で活動されている方々の声や、そこで集積されている情報を、みんなで大事な資源として活用できるような仕組みを考えていきたい。（高田部長） 	<p>【部会、談義所において検討】（資料4/P.6）</p> <p>利用者相互の即時情報共有のため、PARKFUL等アプリの活用を促します。また、具体的な方法、内容を談義所において議論していきます。</p>
11	その他 その他	<ul style="list-style-type: none"> 明石公園と魚の棚との連携をより強化したい。（兼光委員） 	<p>【談義所において検討】</p> <p>魚の棚をはじめ、地元市、地域との連携について、今後、幅広くアイデアを募りながら検討していきます。</p>